

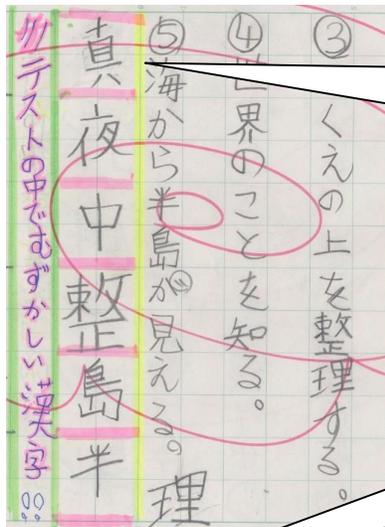


ふれあい

平成17年度 第5号(12月発行)門川町教育研究所(五十鈴小内教育相談室)
〒889-0611 門川町大字門川尾末6270 [TEL 63-1566]

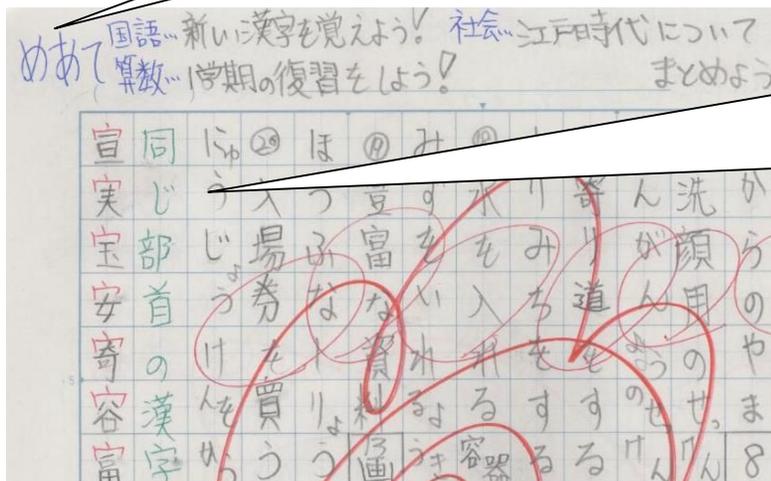
宅習ノートを工夫しよう

本研究所は、町内の子ども達の学力向上をサポートしようと、中学生用の「学習の手引き」、小学生用の「家庭学習ノートの例」を作成しています。その中で、町内の小・中学生の工夫のみられる宅習ノートも紹介しようと考えています。今回は、その中の一部を紹介します。



これは、3年生のノートですが、漢字テストの中から、特に難しいと思った漢字をもう一度大きくていねいに書いているところです。苦手な難しい漢字を覚えようと意識して書いています。

この6年生のノートでは、工夫されているところが二つあります。「めあてを書いているところ」と「漢字の学習の部分」です。今日行う学習の計画を立てているので、学習量がめやすとして分かり、集中力が高まると考えられます。



新しい漢字を練習して余ったスペースに、部首が同じ漢字を書いています。新出漢字を覚えるときに、部首が同じ漢字を整理したり、似ている漢字を確認したりしておくことで、間違いが少なくなります。

《読者からの返信》 子どもたちにも、ふれあい第4号の記事にあった家庭学習の時間について話をしたいと思います。今は、習い事やスポーツ少年団でおそくなる児童も多く、睡眠時間も少ない児童もいます。時間の確保をさせていくことも大切だと感じました。(6年担任)

返信欄

キリトリ

「ふれあい」についてのご感想、ご意見や、お子さんのことで困っていることを教えてください。